

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年5月10日

【四半期会計期間】 第96期第1四半期(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

【会社名】 東京都競馬株式会社

【英訳名】 TOKYOTOKEIBA CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中 西 充

【本店の所在の場所】 東京都大田区大森北一丁目6番8号

【電話番号】 03(5767)9055

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 高 倉 和 仁
財務部長 平 田 賢 一

【最寄りの連絡場所】 東京都大田区大森北一丁目6番8号

【電話番号】 03(5767)9055

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 高 倉 和 仁
財務部長 平 田 賢 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第95期 第1四半期 連結累計期間 | 第96期 第1四半期 連結累計期間 | 第95期 |
|------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年1月1日 至 2018年3月31日 | 自 2019年1月1日 至 2019年3月31日 | 自 2018年1月1日 至 2018年12月31日 |
| 売上高 (千円) | 4,661,077 | 4,989,365 | 22,760,601 |
| 経常利益 (千円) | 1,019,416 | 1,212,844 | 6,606,863 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円) | 747,432 | 776,466 | 4,516,443 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 673,711 | 819,478 | 4,380,365 |
| 純資産額 (千円) | 60,048,950 | 63,130,614 | 63,170,198 |
| 総資産額 (千円) | 85,537,949 | 94,578,794 | 92,478,778 |
| 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円) | 26.17 | 27.19 | 158.13 |
| 潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 70.2 | 66.7 | 68.3 |

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、S P A T 4（南関東4競馬場在宅投票システム）を中心とした公営競技事業の売上が引き続き好調に推移したことなどにより、売上高は4,989百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は1,212百万円（同17.7%増）、経常利益は1,212百万円（同19.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は776百万円（同3.9%増）となりました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中（夏季）に年間入場者の大半を集客することから、通年の業績のうち第3四半期連結会計期間における売上高及び売上原価の占める割合が著しく高い傾向にあります。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

| 区 分 | 売上高 | | セグメント利益又は セグメント損失() | |
|--------------|---------|-------|-------------------------|-------|
| | 金額(百万円) | 前年増減比 | 金額(百万円) | 前年増減比 |
| 公営競技事業 | 3,230 | 17.1% | 1,103 | 46.5% |
| 遊園地事業 | 170 | 6.4% | 382 | |
| 倉庫賃貸事業 | 1,090 | 3.0% | 671 | 5.8% |
| サービス事業 | 512 | 19.1% | 120 | 15.5% |
| セグメント間取引の消去等 | 14 | | 300 | |
| 合 計 | 4,989 | 7.0% | 1,212 | 17.7% |

[公営競技事業]

大井競馬は20日開催され、浦和競馬、船橋競馬、川崎競馬の大井場外発売は計29日、その他各地方競馬の広域大井場外発売が124レース実施されました。

また、SPAT4では、各地方競馬の発売が延べ273日、3,150レース実施されました。

この間、SPAT4においては、システム更新による性能強化やスマートフォンからの投票における利便性の向上を図ったほか、投票金額に応じて一定ポイントを付与する「SPAT4プレミアムポイント」においても、主催者及び関係団体の協力のもと、各種イベントの開催やキャンペーンを実施するなど、さらなる会員数の増加と売上増進に努めました。

大井競馬場におきましては、ナイター照明のLED化工事を実施するなど施設の整備改善に努めるとともに、昨年10月にオープンしたイルミネーションイベント「TOKYO MEGA ILLUMINATION」は、1月より一部演出のリニューアルによる新たな光の絶景を展開し、3月末まで開催いたしました。

伊勢崎オートレース場におきましては、オートレースは23日開催され、他場の場外発売は延べ76日実施されました。また、オートレース場内に併設されている南関東4競馬などの地方競馬を発売する「オフト伊勢崎」、中央競馬を発売する「J-PLACE伊勢崎」についても売上は堅調に推移いたしました。

以上の結果、公営競技事業の売上高は3,230百万円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益は1,103百万円（同46.5%増）となりました。

[遊園地事業]

遊園地事業におきましては、東京サマーランドにおいて、園内整備等に伴う休園期間を経て、3月1日より当期の営業を開始いたしました。春季期間の集客拡大として、中学生以下のダンスチームによるイベント「Dance! Dance! Dance! 2019」や、近隣市町村に在住・在学の方々を対象とした「市町村民感謝デー」を開催いたしました。

以上の結果、東京サマーランドの入場人員は前年同期比9.2%増となる9万人となりましたが、園内各所における補修工事やメンテナンス作業等の実施に伴う費用の増加もあり、遊園地事業の売上高は170百万円（前年同期比6.4%増）、セグメント損失は382百万円（前年同期はセグメント損失283百万円）となりました。

[倉庫賃貸事業]

倉庫賃貸事業におきましては、勝島地区の一部倉庫において、契約変更に伴う賃料減額が発生いたしました。

以上の結果、倉庫賃貸事業の売上高は1,090百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は671百万円（同5.8%減）となりました。

なお、千葉県習志野市において建設を進めておりました「習志野茜浜倉庫」につきましては、本年1月に竣工し、4月からの稼働を予定しております。

[サービス事業]

サービス事業におきましては、大井競馬場前コンビニエンスストアにおける契約形態の変更や、空調設備等の工事に関する受注の減少等により、売上は前年同期を下回りました。

この結果、サービス事業の売上高は512百万円（前年同期比19.1%減）、セグメント利益は120百万円（同15.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,100百万円増加し、94,578百万円となりました。これは、現金及び預金が4,067百万円、受取手形及び営業未収入金が861百万円それぞれ減少したものの、習志野茜浜倉庫の竣工等により有形固定資産が4,242百万円増加したことに加え、SPAT4のリニューアル等により無形固定資産が2,194百万円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,139百万円増加し、31,448百万円となりました。これは、支払手形及び営業未払金が300百万円、未払法人税等が761百万円それぞれ減少したものの、未払金が3,576百万円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少し、63,130百万円となりました。これは、上場株式等の時価変動によりその他有価証券評価差額金が43百万円増加したものの、期末配当金856百万円の支払いと、親会社株主に帰属する四半期純利益776百万円の計上により、利益剰余金が80百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の68.3%から66.7%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

重要な設備計画の完了

前連結会計年度末に計画していた重要な設備の新設のうち、当第1四半期連結累計期間において完了したものは次のとおりであります。

| 会社名 | 所在地 | 設備の内容 (セグメントの 名称) | 完了年月 | 取得価額(千円) | | | | | | |
|----------|-------------|---|---------|-------------|------------|---------------|--------------|------------|--------|-----------|
| | | | | 建物及び 構築物 | 建物附属 設備 | 機械装置 及び運搬具 | 土地 (面積千㎡) | ソフト ウェア | その他 | 合計 |
| 東京都競馬(株) | 東京都 品川区 | 新SPAT4および 南関ホームページ システム構築 (公営競技事業) | 2019年3月 | - | - | 1,470,600 | - | 2,300,782 | - | 3,771,382 |
| 東京倉庫(株) | 千葉県 習志野市 | 習志野茜浜倉庫 新築工事 (倉庫賃貸事業) | 2019年1月 | 3,949,246 | 653,412 | - | - | - | 41,542 | 4,644,200 |

(注) 上記の金額には消費税等を含めておりません。

重要な設備投資の新設等

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 40,000,000 |
| 計 | 40,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年3月31日) | 提出日現在 発行数(株) (2019年5月10日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 28,764,854 | 28,764,854 | 東京証券取引所 (市場第一部) | ・権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株式 ・単元株式数 100株 |
| 計 | 28,764,854 | 28,764,854 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年1月1日～ 2019年3月31日 | | 28,764,854 | | 10,586,297 | | 6,857,668 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日(2018年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2018年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 205,900 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 28,377,700 | 283,777 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 181,254 | | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 28,764,854 | | |
| 総株主の議決権 | | 283,777 | |

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式700株(議決権7個)が含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式9株が含まれております。

【自己株式等】

2018年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 東京都競馬株式会社 | 東京都大田区大森北 一丁目6番8号 | 205,900 | | 205,900 | 0.71 |
| 計 | | 205,900 | | 205,900 | 0.71 |

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株(議決権1個)あります。
 なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年1月1日から2019年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日) |
|-------------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,673,182 | 11,605,867 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 2,638,708 | 1,777,099 |
| 有価証券 | 1,439,988 | 1,839,988 |
| たな卸資産 | 98,317 | 101,398 |
| 立替金 | 186,736 | 174,855 |
| その他 | 130,579 | 515,709 |
| 流動資産合計 | 20,167,513 | 16,014,918 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 19,767,055 | 23,341,114 |
| 建物附属設備（純額） | 4,814,648 | 5,636,662 |
| 構築物（純額） | 7,528,891 | 7,480,368 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,299,588 | 3,876,841 |
| 土地 | 26,522,303 | 26,525,642 |
| 建設仮勘定 | 1,988,798 | 314,829 |
| 信託建物（純額） | 1,548,943 | 1,533,404 |
| 信託建物附属設備（純額） | 243,089 | 237,181 |
| 信託土地 | 2,174,126 | 2,174,126 |
| その他（純額） | 585,418 | 594,785 |
| 有形固定資産合計 | 67,472,864 | 71,714,957 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 356,497 | 2,560,681 |
| のれん | 66,386 | 56,902 |
| 施設利用権 | 2,206 | 2,093 |
| その他 | 11,389 | 11,389 |
| 無形固定資産合計 | 436,480 | 2,631,067 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,655,558 | 2,719,846 |
| 長期前払費用 | 145,883 | 124,767 |
| 繰延税金資産 | 486,938 | 428,381 |
| 長期立替金 | 1,010,596 | 842,163 |
| その他 | 102,944 | 102,691 |
| 投資その他の資産合計 | 4,401,920 | 4,217,851 |
| 固定資産合計 | 72,311,265 | 78,563,875 |
| 資産合計 | 92,478,778 | 94,578,794 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日) |
|--------------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 1,149,721 | 849,532 |
| 短期借入金 | 41,200 | 66,400 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 未払金 | 2,246,102 | 5,822,800 |
| 未払法人税等 | 1,223,449 | 462,434 |
| 未払消費税等 | 50,820 | 13,154 |
| 賞与引当金 | 49,164 | 131,940 |
| ポイント引当金 | 360,153 | 401,215 |
| その他 | 899,469 | 811,008 |
| 流動負債合計 | 7,020,082 | 9,558,486 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000,000 | 10,000,000 |
| 長期借入金 | 8,000,000 | 7,750,000 |
| 長期預り金 | 2,111,541 | 2,161,161 |
| 退職給付に係る負債 | 1,184,843 | 1,110,529 |
| 資産除去債務 | 377,816 | 379,167 |
| 繰延税金負債 | 972 | - |
| その他 | 613,324 | 488,834 |
| 固定負債合計 | 22,288,497 | 21,889,692 |
| 負債合計 | 29,308,579 | 31,448,179 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,586,297 | 10,586,297 |
| 資本剰余金 | 6,857,668 | 6,857,668 |
| 利益剰余金 | 45,792,251 | 45,711,949 |
| 自己株式 | 448,891 | 451,186 |
| 株主資本合計 | 62,787,324 | 62,704,729 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 382,873 | 425,885 |
| その他の包括利益累計額合計 | 382,873 | 425,885 |
| 純資産合計 | 63,170,198 | 63,130,614 |
| 負債純資産合計 | 92,478,778 | 94,578,794 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,661,077 | 4,989,365 |
| 売上原価 | 3,194,678 | 3,318,629 |
| 売上総利益 | 1,466,399 | 1,670,736 |
| 販売費及び一般管理費 | 435,890 | 458,243 |
| 営業利益 | 1,030,509 | 1,212,493 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 675 | 2,456 |
| 線下補償料 | 2,034 | 2,034 |
| 除斥配当金受入益 | 3,617 | 3,039 |
| その他 | 2,499 | 1,107 |
| 営業外収益合計 | 8,826 | 8,637 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,625 | 8,265 |
| その他 | 293 | 20 |
| 営業外費用合計 | 19,919 | 8,286 |
| 経常利益 | 1,019,416 | 1,212,844 |
| 特別利益 | | |
| 違約金収入 | 182,933 | - |
| 特別利益合計 | 182,933 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 18,728 | - |
| 特別損失合計 | 18,728 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,183,621 | 1,212,844 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 403,416 | 398,158 |
| 法人税等調整額 | 32,771 | 38,220 |
| 法人税等合計 | 436,188 | 436,378 |
| 四半期純利益 | 747,432 | 776,466 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 747,432 | 776,466 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 747,432 | 776,466 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 73,720 | 43,011 |
| その他の包括利益合計 | 73,720 | 43,011 |
| 四半期包括利益 | 673,711 | 819,478 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 673,711 | 819,478 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

| |
|---|
| 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)及び 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) |
| (売上高等の季節的変動) 当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中(夏季)に年間入場者数の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 850,273千円 | 925,446千円 |
| のれんの償却額 | 9,483千円 | 9,483千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2018年3月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 571,270 | 20.00 | 2017年12月31日 | 2018年3月28日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2019年3月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 856,768 | 30.00 | 2018年12月31日 | 2019年3月28日 | 利益剰余金 |

(注)1株当たり配当額30円には、会社創立70周年記念配当10円を含んでおります。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 公営競技事業 | 遊園地事業 | 倉庫賃貸事業 | サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,758,150 | 159,921 | 1,123,301 | 619,703 | 4,661,077 | - | 4,661,077 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 479 | - | - | 14,162 | 14,642 | 14,642 | - |
| 計 | 2,758,629 | 159,921 | 1,123,301 | 633,866 | 4,675,720 | 14,642 | 4,661,077 |
| セグメント利益又は セグメント損失() | 753,424 | 283,429 | 712,670 | 142,615 | 1,325,280 | 294,771 | 1,030,509 |

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 294,771千円には、セグメント間取引消去361千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 295,132千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 公営競技事業 | 遊園地事業 | 倉庫賃貸事業 | サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,229,535 | 169,618 | 1,090,104 | 500,107 | 4,989,365 | - | 4,989,365 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 613 | 545 | - | 12,863 | 14,021 | 14,021 | - |
| 計 | 3,230,148 | 170,163 | 1,090,104 | 512,971 | 5,003,387 | 14,021 | 4,989,365 |
| セグメント利益又は セグメント損失() | 1,103,765 | 382,617 | 671,609 | 120,549 | 1,513,307 | 300,813 | 1,212,493 |

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 300,813千円には、セグメント間取引消去915千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 301,728千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) |
|---------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 26円17銭 | 27円19銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円) | 747,432 | 776,466 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円) | 747,432 | 776,466 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 28,562,908 | 28,558,612 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年5月10日

東京都競馬株式会社
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

| | | | |
|----------------|-------|------|---|
| 指定社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 遠藤洋一 | 印 |
| 指定社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 新藤弘一 | 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東京都競馬株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年1月1日から2019年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東京都競馬株式会社及び連結子会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。